

THE ROTARY CLUB OF CHOSHI

# 銚子ロータリークラブ会報

国際ロータリー第2790地区

創立 昭和32年3月23日

RI承認 昭和32年4月15日

会長 島田 洋二郎

副会長 松本 恭一

幹事 石毛 充

会計 金子 芳則

2016~2017年度 RI テーマ

人類に奉仕するロータリー

ROTARY SERVING HUMANITY

2016~2017 RI 会長 ジョンF. ジャーム

Rotary



例会日時 毎週水曜 12:30~

例会場 銚子商工会館 5F大会議室

事務所 銚子市三軒町19-4

銚子商工会館4階

電話 0479-23-0750

ファクス 0479-25-8789

E-mail rotary@choshinet.or.jp

URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~crc>

第2917号 (2016年9月28日発行)

## 今週のプログラム

夜間移動例会 観月会

## 前回例会報告 (9月21日)

点 鐘：島田 洋二郎会長

ロータリーソング：それでこそロータリー

四つのテスト唱和

ビジター紹介：

株日豊 代表取締役 川村 良三様(卓話者)



報告がございますので確認を頂ければと思います。「今月はロータリーの友月間」、合わせて「基本的教育と識字率向上月間」です。この「識字」、以前は「文盲」と言われていていましたが、これが差別につながるということから現在は使われなくなりました。

識字率はユネスコの基準によると、「それぞれの国、及び地域の15歳以上に対して、日常的に使われる会話を読み書きできる人の割合」となっています。統計によりますと、非識字率は全世界で約7億8000万人、全世界の人口は約73億3000万人あまりですので、9.5人に一人ということになります。この識字率はその国の事情などの問題もあり、必ずしも正確な数値とは言えないようです。日本の場合は識字率ではなく就学率として表わしていますが、今月、国連が世界の就学率として発表した数値は90%ですので、識字率とこの就学率は一致しているということになります。

話は日本の江戸時代末期となりますが、当時の武士の識字率はほぼ100%だったそうです。また、武士に限らず、時代劇にも出てくる「寺子屋」、裏長屋で暮らす庶民の子供たちでも寺子屋に通い、「読み書き、手習い」ということで、その識字率は45パーセントを越えていたようです。この「寺子屋」は幕府が作ったものでもなく、一般庶民が必要に迫られて作ったもので、当時のイギリス・ロンドンの中産階級以下の子供たちの識字率が15%くらいだったことと比較すれば、当時の日本の「寺子屋」の存在の意味が伺えます。

さて、本日は川村様をお招きしての例会となります。日本の新幹線はご存知の通り1964年の10月、東京オリンピックに合わせて開業されました。自分が初めてこの「夢の超特急」に乗ったのは高

## 会長挨拶

台風16号も無事に銚子を抜け、例会は通常通り開催が出来ました。

今週の日曜日に、さざんか園の敬老祝賀会にお招きを頂き、石毛幹事と参加をさせて頂きました。皆さん本当にお元気で、一緒に歌を歌ったり、体操をしたりと、施設の職員の方々もとても明るく、元気を頂いて帰ってきました。兒玉英子先生には改めて御礼申し上げます。

また、60周年の記念事業として準備を進めてきた駅前ロータリーの改修ですが、先週の金曜日にこれまでの丸い花壇をすべて撤去して、新しくベンチ3基、花植えポット4基を設置し、昨日は花を植える予定でしたが、台風の影響で延期をさせ



て頂きました。後ほど、金島委員長より改めてご



第2790地区

ガバナー 青木貞雄 (成田コスモポリタンRC)

広報・会報委員会 委員長 信太 秀紀

委員 金子 芳則

校 2 年の修学旅行の時です。何故かその時、友達と新幹線の中で“じゃんけんデコピン”が始まり、京都に着いた時にはおでこがデコボコになってしまい、そのまま修学旅行を終えたという痛い思い出があります。話が違う方向へ行ってしまうましたが、本日の川村様の「海外勤務と台湾新幹線プロジェクト」のお話を楽しみに待ちながら会長挨拶を終わります。

### 臨時理事会報告

1) 神津新入候補者の件…承認

### 幹事報告【活動計画書拝受】松戸東 RC

1. 振込先口座名義の訂正
2. 地区大会での決議案文の事前送付  
…以上、ガバナー事務所
3. 10 月米山月間資料のご案内  
…公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
4. 交通安全功労者表彰について (通知)  
…銚子市交通安全都市推進協議会
5. うみなり第 52 号 …銚子地区保護司会

### 会員の記念日

☆誕生日おめでとうございます。  
加瀬 貞治会員(9 月 21 日)卒寿



☆結婚記念日  
佐藤 直子会員 (9 月 15 日)  
松本 恭一会員 (9 月 19 日)

### ニコニコBOX

◇高瀬 幸雄会員  
川村良三様に卓話をしていただきます。RC では初めての事です。



### 卓話

「私の海外勤務と台湾新幹線プロジェクトを終えて観てきたものは」

株式会社 日豊 代表取締役 川村 良三様



私は昭和 44 年に三菱重工業に入社し、退職まで 38 年間、三菱一筋で勤めて参りました。私は広島出身なので 三菱重工業広島造船所に入社した時はこれでゆっくり地元の広島で生活を満喫出来ると安心

しておりました。ところが入社して 4 年目に入った時、部長から東京に「三菱ケミカルエンジニアリングセンター」が出来たので、そちらに転勤する様に命じられました。私は広島に配属され、安心したのもつかの間、私の意向に関係なく東京転勤が決まりました。その時の部長の言葉は、イラクの肥料プラントを受注したのでこのプロジェクトの設計及び現地工事を遂行する事。工事期間は 3 年間なので完了したら広島に返すからの約束でした。しかしながら 3 年後、任務完了したころには約束した部長は定年退職しており、引き継いだ部長は約束はしていない。との回答で、がっかりしたことを覚えております。(現在に至りました。) 私は海外勤務を 20 年以上経験した関係で、サラリーマン生活 (38 年) は、あつという間に過ぎました。イラク以外の海外経験は サウジ/クエート / カタール / インド / インドネシア / 台湾と全て PLANT 建設に従事して来ました。(台湾だけは、交通関係の PROJECT でした。) 台湾新幹線の話の前に海外プロジェクトで経験したことを、3 点お話しさせていただきます。

最初の海外 PROJECT はイラクでした。最初に仕様書を見たときには驚きました。右から左に ”ミミズ” のはった様な字で書かれており、何も理解出来ませんでした。それはその筈で初めて見た字体でした。(英文翻訳はありました。) 私の仕事は現地人を指導し、工事を進めていく工事監督の立場でした。その当時の宿舎は、砂漠の中に冷房設備を完備、又、日本人コックを置いて大変恵まれた環境でした。昔は携帯電話などの便利な通信手段は無く、家族との連絡は電話のみでした。その当時の通信状態は悪く、直ぐ切れる電話での通信でした。それでも現場から 1 時間かけて電話局に行き、1~2 時間並んで電話したことが楽しい思い出になっております。こんな状況でも、家族の声を聴きたい、一心で 10 人程のメンバーがマイクロバスに乗り毎週 (金曜日) の、休みになると、電話局に出かけました。その出張当時は 6 ヶ月毎に 2 週間の休暇が有り、日本に帰国することが出来ました。家に帰り玄関を開けると、下の娘が家内の後ろに隠れるばかりで「どこのおじさん」といった感じでの目で私を見るのです。(悲しい時間でした。) そんなことで おもちゃを買い与えて一緒に遊ぶと 1 週間ぐらいで膝の上に来てくれました。しかし年 2 回、2 週間しか家に居ないので、家内は幼稚園のママ友からは ”お妾さん” なのと陰口されていましたが、家内は説明することもしないで、あっさり流してくれました。私に取っては、それが一番。胸にジーンと来たのを今でも覚えております。家族は、一番大事にしなければならぬと痛感した時期でもありました。

さて、ご存知かもしれませんが、その当時、イラクは社会主義を通していた国で、中近東の勤勉な国との評判でした。又、中近東の中では ” お酒 ” が飲める国でした。イスラムの国は金曜日が休日ですので、” 花の金曜日 ” でなく ” 花の木曜日 ” でした。楽しみを求め、1人では危険なので 2~3人連れで、お酒を飲み公園のクラブによく行きました。クラブと言っても ” ヤシの木 ” の下にテーブルを置いて、お酒を楽しむものでした。ムード的にはイルミネーションを点灯していましたので、仲間と日本を思い出しては飲んでいました。以前、フセイン大統領が統治していた時代は、イラクは中近東の中でも勤勉熱心な優秀な国でした。しかし公開処刑も沢山見ました。残念ながら、イラク戦争後は見る影も無くなりました。

その次はサウジアラビアの海水・淡水化プラントをサウジ国内 3 地区に従事することになり、延べ 5 年間ほど サウジアラビアに滞在した時の話です。サウジは中近東の中でも、イスラム回教徒に取って ” メッカ ” という聖地があります。回教徒にとっては、世界中から一生に 1 度は訪れたいと夢見る場所なのです。服装は、皆さまが良くテレビで見られているものです。男性は白色で、女性は黒色です。又、女性は人前では顔を出してはいけません。イラクでは、男女とも ジーパン姿が多かったのですが、サウジは厳格で厳しい国との印象を受けました。そして オイルマネーによる裕福な国なので、スーパーマーケットでは金細工製品は多く店に置かれていました。その当時には、サウジアラビアには、ホームレスや乞食風の人は見かけることはありませんでした。その理由を聞いてみると、サウジは王制ですので ” 王制 ” に不満が出て王制を転覆させる者が出ない様に、手厚く国民に手当を出し保護しているのだと教えてくれました。その当時、サウジ国民の中で海外に出れる人は限られていたようです。現在は少し緩和されているようです。ここで 一つエピソードをお話します。私達の宿舎は、6 所帯の平屋で長屋形式のアパートに住んでいました。ある日 19 時頃アパートに着いて部屋に入ろうとした所、隣近所から ” すずり ” 泣きが聞こえて来ました。暑いので玄関を開けている家庭がほとんどです。どうもテレビを見て泣いているようです。しかもどの家も同じ番組を見ています。そこで、どんな番組かなと隣の玄関に近ずき聞き耳を立てみますと、なんと懐かしい音楽が聞こえて来ました。それは 「おしん」 でした。「おしん」は世界の数十か国近くに、その国の言語で吹き替えられていることで有名です。聞いて見ると日本はサウジと一緒にだと言われ、驚きました。サウジでは奥さんは 4 人まで持てる 「イスラム教」そのものです。彼女たちから

見れば 80 年ぐらい前の日本社会を見て、共感しているのです。それは、男尊女卑を自分の身に置き換えて泣いていたのです。サウジの女性も、自分の旦那さんと毎日一緒には居れませんと言うのも、旦那さんは 第一夫人から 第 4 夫人迄を順番に家に行き、あくる朝第一夫人の所に帰って来ます。これは、仕来たりで、宗教上認められています。従って、女性は文句は言えません。その為、旦那さんとの間で良く喧嘩（もめ事）をあるそうです。それにしても サウジの女性が自分自身を ” おしん ” と重ね合わせてテレビの前で家族（女性）のみんなが泣いていたのには、私には驚きでした。

工事関係では、こんな事が起こります。PLANT も完成したので、照明（照度/明るさ）の試験を行う様申し込んだ所、先ず月曜日から木曜日の夜は仕事になりません。又、金曜日は休日なので試験は出来ません。これも奥さん達への ” 家めぐり ” が、影響しているのだなと感じました。それではどうするのか？ と、サウジの担当に聞いて見ました。運転要員（第 3 国人）を雇っているのでその要員を立合わせて検査することになる事になり無事試験を終えることが出来ました。私も、色々な国があるものだなと感じたと同時に、いい経験をしました。

3 点目はインドでの出来事です。インドの カルカッタ（現、クルカッタと言います）。現場は、カルカッタより車で 2 時間ほどかかる場所でした。21 時に カルカッタ の空港に着き、迎えの車に乗り込んで現場の宿舎に向かいました。東京を出るときに、インドでは絶対に守るべきことについて、手ほどきを受けました。インドは ” 州 ” で纏まっている国で、まだまだ貧しい場所が多くある。道路では通行料を出せと、山賊（銃も持っている。）が出る時があるので注意する様に言われておりました。そのため道中では、山賊は出るな出るなと心で祈っていました。行先は運転手に任せ出発しました。町を出ると道路灯も無く、真っ暗な道路で何も見えません。それで気持ちよく眠ってしまいました。1 時間ぐらい走った時に、いきなり運転手が急ブレーキを掛け私は前の座席に頭をぶつけると同時に目が覚めました。何ごとかを見ると、目の前には大きな ” インド象 ” のお尻が見えました。 ” 象 ” 使いが乗っているので、暴れる事は無かったのですが、あと数メートル気付くのが遅かったら、車が潰されていたかも知れませんでした。それを考えると今でも ” ぞつと ” するのを鮮明に思い出します。

PLANT の工事現場で見た光景ですが、本当なのかと目を疑いました。かなりの田舎町でした。こんな場所に本当に PLANT を作るのかと思いました。ポリエチレン PLANT の 建設現場でした。田舎町

なので建機も少なくコンクリートを打設する際には 50 人ぐらいの男女が頭にザルを載せ、並んでコンクリートを受け取り作業場所まで運んでいました。まるで蟻の餌運び状態でコンクリートを打設作業をしていました。こんな工事方法もあるのだなど、感心すると共に大丈夫かなとも思いました。

海外の最後の仕事は「台湾新幹線の建設 PROJECT」のメンバーに入ったことからスタートしました。台湾新幹線建設 PROJECT に従事する事になったのは、2000 年の 12 月からです。台湾は今までに行ったことの無い国でしたので、不安もありましたが、色々先輩に聞いた所親日な人が多いので心配はないと教えてくれましたので安心しました。この台湾新幹線のスケジュールは、2001 年 8 月迄日本国内で基本設計を完了し、2001 年 12 月から台湾の台北にある日本連合の台北事務所に着任し、詳細設計を始めました。台湾新幹線の建設に関しては、日本への期待が大きいことを肌でひしひしと感ずることが出来ました。それは台湾高速鉄道の関係者の方々からも頑張ってください。と、多くの励ましをもらい、工事に関しても大変な協力がありました。我々も感謝の気持ちでいっぱいになりました。私は 通訳を付けて貰い、現場の CM で スタートしました。通訳はちゃんとしてくれたのですが、技術的には中々通じない言葉もあり苦勞もしました。工事も試運転が始まる 6ヶ月前(一部 南地区 2005 年 4 月)が ピークとなりました。この時期は、台湾と日本人を含めピーク時には大勢の人が働いていました。こんな時期に、工程の進捗が思わしくないの、夜中サブコン(下請け会社)の見回りに そっと思ったところ、台湾の冬の夜は結構寒いので、ドラム缶を半分に切り焚火をしてサボッテ いるでは有りませんか。そこで日本語で” コラー” と叫びしながら尻を叩き、工事を進めて行きました。ようやく試運転に間に合わせる事が出来ました。試運転は 台湾の台南地区で 2005 年 10 月から始まり、15 か月後の 2006 年 12 月に無事完了しました。開業は 2007 年 1 月からで現在に至っております。現在は、満席に近い乗客が利用する輸送量になっているようです。2007 年 1 月から運行が開始されていますが、日本と同様。開業から時間が正確で安全な走行を続けており台湾高速鉄道から感謝されています。私達も日本の鉄道技術の優秀さを示せたことを誇りに思っています。台湾新幹線プロジェクトに従事していた時の ” エピソード” を 3 つお話しします。

(先ず最初は通勤です。) 毎日アパートから台北事務所にはバスで通っていました。台湾のバス路線は、番号で行先ルートが決まっています。私も夕刻帰宅するのにバス停でバスを待っていると

80 歳過ぎの ” 老人” から、台北駅に行くバスの番号を聞かれました。私はとっさに ” 分からない!” と行ってしまいました。それからが大変だったのです。ご老人の言葉が急に日本語に代わり叱られたのです。「君は日本人かね! 君の日本語はなっていない!」と、綺麗な日本語で言ってきたのです。私はびっくりして ご老人に聞きました。それによるとご老人は、日本が統治した時代の「尋常小学校」を卒業したと説明されました。なるほど道理で今の日本人よりも規律ある綺麗な日本語を話されるのですね。と、感心し 1 時間ぐらいバス停で話し込んでしまいました。台湾では、このような人達の子供が多いので、日本語も多く話されているのかなと感じました。ご老人曰く、私たちは終戦後、台湾は日本国の台湾県になる事を希望した人々が沢山おられたと言っていました。しかし終戦後「サンフランシスコ条約」にて、日本は台湾を放棄したことに対し、大変寂しかったとも言われました。又ご老人は、日本統治時代は日本と同じ交番等の インフラの整備が行われたことに感謝しているとも言っていました。又、これが現在の台湾の基礎になっているとも言われました。その当時は、玄関や窓を開けっぱなしにしても泥棒も居なかった。それがどうだ。今の社会は泥棒も多いし、窓には鉄格子が詰められている。これでは、火事には逃げられないであろう。と嘆いていました。その当時から比べると今の若い者はなつとらん。君はどう思いかね。と聞かれました。私は、ご老人に戦前と比べても仕方がないですよ。社会も変わって来ましたからね。日本も一緒ですよ。そうだなと意気投合し、なんとなく ” ホット” したのを覚えております。

2 つ目は、休日に灌漑設備があるので見に行きましょう。と、私の通訳が言ってくれたので台南県の湖に行きました。湖の少し高い場所に銅像が立っていました。そこに遠足に来ていた中学生が銅像に向かって拜んでいました。おじさんは日本人ですか? 何故拜まないのですか? と中学生から問われました。その中学生が教えてくれました。昔の台湾は北回帰線(嘉儀懸)以南は、不毛地帯で農作物は、全く出来なかったところの事でした。日本の統治時代に八田與一と言う人が農民達の中心になり、ダムと数十キロに渡る水路と水田地帯を作り上げ「広大な不毛地帯」を一大穀倉地に作り上げたとのこと。この「灌漑設備」の偉業を成し遂げた八田與一は 今でも中学の教科書に取り上げられ崇拜されています。まだまだ日本人が台湾に寄与した人は、沢山いて崇拜されていますよ。とも中学生から教わりました。例えば、疫病が蔓延していた台湾の衛生面を改善して、伝染病の撲滅などに貢献した医学者の堀内次雄。品

種改良を重ねて台湾の気候に合った「蓬莱米（ほうらいまい）」を生み出した農学者の磯永吉（いそえいきち）と農業技師の末永仁（すえなが じん）。台湾中心部（台中の山奥）の日月潭（じつげつたん）という湖に巨大な水力発電所を建設して島内の工業化を支えた実業家の松木幹一郎（まつき かんいちろう）等の日本人がおられました。この技術者達が居たお蔭で現在の台湾の基礎「台湾の発展」に寄与した功労者として称えられています。遠足に来ていた中学生から、この”おじさん”は勉強不足だね。と言われました。私も戦後生まれなので、ここまでの歴史は学んでいませんでした。こんな若い人が、台湾に貢献した日本人について勉強し、学んでいることで日本に対し親近感を持っているのかなと感じました。（中国の反日とは、大違いだと感じました。）

3つ目は技術面の言葉が通じないことに苦勞していたので、発起し勉強してみるかと思いました。通訳から、病院の婦長さんを紹介して貰い中国語の勉強を始めました。最初は病院の小部屋（会議室）で学習を始めました。始めたのは良いのですが、これが大変難しいものでした。言葉の発音の種類も”四声”が有り中々進みませんでした。特に舌を巻いて発生するのは、日本人には大変難しいものでした。第4回目からは病院の部屋が使えず町の”マクドナルドの2階”で行うことになりました。授業を行っている隣の席に居た家族の子供（4～5歳）が私を見て”このオジサン”の発音はおかしい。と、何回も”ケラケラ”笑うのです。その姿を見ると急に学習意欲が無くなったのです。（先生は気にせず、集中しなさい。と）今になれば勉強を続けていれば良かったなと後悔している所です。従って10年間台湾に滞在しても話が出来ないのです。台湾人からは勉強しなさいと今でも言われます。最後になりますが、私は台湾新幹線の開業から3年間のメンテ期間を終わらせ2010年3月に日本に帰ってまいりました。帰ってからは、三菱の交通部が広島の上原に移りましたので、単身（62歳）で三原勤務となりました。三原の勤務が1年経過した時、家内が胃がんになり胃の1/4切除する事になりました。病院の先生に聞くと切り取る部分は小さく問題は有りません。安心してくださいと言われました。そこで娘が東京にいたので家内の入院手続きを頼んだところ、娘からは”キツイ一言”を言われました。「お父さんの奥さんでしょ。」三菱重工に努めて40年間の内20年間は海外で家に居なかったでしょ。苦勞を掛けているのだから自分で入院手続きをして、一緒に暮らした方がいいよ。「捨てられるよ。」と忠告されました。そうだな娘の言う通りだなと思いましたね。そこで再雇用を終了。退職して千葉の家に帰り入院さ

せました。そして家内には、一緒にゆっくりしよう！海外旅行でも行こうと二人で話をしました。それから1年ぐらいゆっくりして居たところ、台湾新幹線プロジェクトで三菱が雇用していた”サブコン”のエンジニアが、台湾高速鉄道から雇用されていました。又、工事を担当していた人物も台湾高速鉄道から雇用され電車線の保守要員に配属されていました。それらの人達は建設中に過ごした仲間です。その仲間から川村さんは今、日本で何をしていますか？と聞いてきました。何故と聞いてみると高速鉄道がメンテナンス用部品等を日本から購入したいので協力する会社を作って入札に応じて貰えないか、と言ってきました。購買の取引コードは、直ぐに取るからと言われました。その後、さっそく高雄に会社を造り対応する事にしました。現在もその会社は、部品等の手配を行っております。台湾は食事も豊富で美味しく生活には全く問題有りませんでした。親日派の多い所です。私に取って色々な国を回って来ましたが、台湾の出張が最後で最高の海外生活になりました。この会場にいらっしゃる方々も、台湾に行かれていますと思いますが、如何感じられておられますでしょうか？台湾も素晴らしいと思いますが、現在は、私も時々銚子に来ております。この銚子も本当に良い所だと思っております。台湾の友人達にも銚子を”PR”しているところです。つたない経験話を長い時間、聞いて頂き「御清聴」誠に有難うございました。以上

### 委員会報告

金島 弘社会奉仕委員長



本日予定しておりました駅前花壇の花植えですが、台風接近中のため延期とさせていただきます。23日（金）に実施致します。お忙しいとは存じますが、ご参加のほどよろしくお願い申し上げます。

日時 平成28年9月23日（金） 16時～  
場所 銚子駅前ロータリー

### 遠山 靖士親睦活動委員長



今年度、観月会を下記の通り開催させていただきます。ご出席下さいますようお願い申し上げます。  
日時：9月28日（水）  
午後6：30～8：30  
場所：太陽の里

合唱同好会報告 宮崎裕光会員



過日行われた「全日本ロータリークラブ親睦合唱祭」別府大会の御礼状が国際ロータリー第2720地区前田ガバナーより届きましたのでご報告いたします。

第21回全日本ロータリークラブ親睦合唱祭 別府大会御中  
2016年9月6日  
国際ロータリー第2720地区  
ガバナー 前田 眞実

熊本・大分地震 義捐金の御礼

去る4月14日に発生しました熊本・大分地震に対し、数多くの皆様にご心配いただき、お見舞いと激励のお言葉、並びに温かいご支援を賜りましたことに心より感謝申し上げます。

また、震災直後の4月19日に立ち上げた義援金口座「熊本地震総合支援室」へ多くの寄付金をお寄せいただき、誠にありがとうございました。この場をお借りして、御礼申し上げます。

皆様から賜りました義援金は地域社会の今後の生活基盤や社会資源の復興活動費用として、公正公平に使用していきたいと考えています。それには被災地域の住民の方を中心に様々な意見を集約することが大切であります。地区のパストガバナーや被災した地域のロータリアンが中心となり、より多くの方に耳を傾け、被災者の方たちに対して最もロータリーらしい支援を行いたいと思います。引き続き、温かく見守っていただければこの上ない力になりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

なお、お寄せいただきました義援金の用途につきましては、復興活動が終了後、皆様にご報告いたします。

取り急ぎ、文章にて略儀ではございますが、重ねて御礼申し上げます。

全日本ロータリークラブ親睦合唱祭からは「439,236円」を熊本地震総合支援室宛に送金いたしました。

※例会終了後、高橋宏資パスト会長をリーダーに迎え、第3回クラブ協議会が開催されました。  
(各委員会委員長の発表)

【出席報告】

会員総数40名  
出席計算38名  
出席28名 欠席10名 出席率73.68%  
欠席：伊東君・越川君・丸山君・猿田君  
宮内(秀)君・杉山君・富永君  
木曾君・高橋宏明君・副島君

【M U】

9/20 銚子東 RC 大里君

9/21 秋の交通安全運動出発式 (12名)

青野君・石毛君・金子君・金島君・越川君  
丸山君・松本君・大岩君・大里君・櫻井(公)君  
高瀬君・田中君



交通安全功労者：金子芳則会員が表彰されました。

9/23 60周年事業 駅前花壇花植え (15名)

青野君・石毛君・金島君・金子君・小林君  
松本君・宮内(秀)君・宮内(清)君・宮崎君  
永澤君・大岩君・大里君・小田島君・櫻井(公)君  
島田君



【ニコニコ】

|         |         |             |
|---------|---------|-------------|
| ニコニコBOX | ¥ 5,000 | 計 ¥ 138,000 |
| スモールコイン | ¥ —     | 計 ¥ 12,771  |
| 米山BOX   | ¥ 2,800 | 計 ¥ 14,260  |
| 希望の風    | ¥ —     | 計 ¥ 77,100  |

次週のプログラム (10月5日)

「ガバナー補佐訪問」

第7分区ガバナー補佐 鈴木勝彦様  
(八日市場 RC)

※例会終了後、クラブ協議会開催

お弁当：入船(幕の内)